

事務事業 No./名称	■サービス部門 健福-29 □支援部門		障害者社会参加促進事業				
主管課	障害者福祉課	関連課					
分野名	健康福祉						
目標 (目標値)	福祉運営事業の充実を図る						
人口等のデータ	データ区分	22年度	21年度	20年度	備考		
	人口	177,161人	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	78,812世帯	78,131世帯	77,430世帯			
	事業の対象者数	6,301人	6,275人	6,231人			
決算値(千円)	37,213千円	36,252千円	35,821千円				
運営資源状況	(国・県)	2,209千円	2,161千円	2,339千円			
	(負担金等)	0千円	0千円	0千円			
	(一般財源)	35,004千円	34,091千円	33,482千円			
	人員配置数	1.2人	1.0人	1.0人			
	人件費(千円)	10,952千円	9,764千円	9,393千円			
	協働のパートナー	鎌倉市手話・要約筆記講習会実行委員会	鎌倉市手話・要約筆記講習会実行委員会	鎌倉市手話・要約筆記講習会実行委員会			
	事務事業運営経費	総事業費(千円)	48,165千円	46,016千円	45,214千円		
	市民1人当りの経費(円)	272円	260円	256円			
	対象者1人当りの経費(円)	7,644円	7,333円	7,256円			
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)
タクシー券・ガソリン券・バスカード助成事業	○	目標値	33,746,000	31,900,000	31,900,000	31,900,000	31,900,000
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	30,763,000	31,857,000			

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。
小事業名	H22決算値	評価 適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止
障害者社会参加促進事業	37,213千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒	■A □B □C □D □E
	事業の概要	聴覚障害者等の依頼により、手話通訳者の派遣事業や障害者が自ら運転する自動車改造費の助成、自動車運転訓練費の助成並びに在宅の重度障害者に福祉タクシー利用券・福祉自動車燃料費助成券を交付し、利用料の等の助成を実施。		
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A □B □C □D □E
	事業の概要			
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A □B □C □D □E
	事業の概要			
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A □B □C □D □E
	事業の概要			
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒	□A □B □C □D □E
	事業の概要			

中事業の評価結果

事業診断(課長評価)				
H22年度の課題	福祉タクシー利用料金助成については、タクシー券、福祉有償運送券、ガソリン券の選択制となっているが、制度の確立過程での経過もあり、年間助成額がそれぞれタクシー券が24,000円から22,680円、福祉有償運送券が14,400円、ガソリン券が18,000円とばらつきがある。			
課題解決のための取組	新鎌倉行政経営戦略プランアクションプログラムにおいて、福祉タクシー券利用料金助成事業を含めた「在宅福祉給付サービス事業」の整理、見直しを検討していく。			
未解決の課題	手話講習会の参加目的意識の明確化と開催経費の縮減を図るため、手話講習会の有料化を検討していく。			
今後の方針	福祉タクシー券利用助成など社会参加事業、手話通訳・要約筆記などコミュニケーション支援事業など、障害者のニーズに対応した事業を実施し、障害者の社会参加の促進を図っていく。			
今後の方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止 ⇒	A	※ □事業完了	課長名 障害者福祉課長 茶木 和夫

個別事業の概要

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	22年度予算	22年度決算値	個別事業の評価結果	
障害者社会参加 促進事業	26	手話通訳嘱託員報酬	791	744	■適切	□見直し余地あり
		手話通訳者等派遣報償費	1,676	1,726	■適切	□見直し余地あり
		手話講習会等開催委託	1,308	876	■適切	□見直し余地あり
		障害者ふれあいフェスティバル開催等委託	438	350	■適切	□見直し余地あり
		身体障害者自動車改造費助成	200	360	■適切	□見直し余地あり
		福祉タクシー利用料金等助成	35,148	31,497	■適切	□見直し余地あり
					□適切	□見直し余地あり
主な個別事業						
					□適切	□見直し余地あり
主な個別事業						
					□適切	□見直し余地あり
主な個別事業						
					□適切	□見直し余地あり
主な個別事業						
					□適切	□見直し余地あり
主な個別事業						